

芦屋市仮想化基盤及び庁内ネットワーク構築運用業務情報提供依頼実施要領

令和 7 年 8 月

芦屋市

企画部市長公室DX行革推進課

1. 前回 RFI 以降の経緯と今回の RFI の目的

Microsoft Office の Microsoft 365 Apps for Enterprise への移行、庁内におけるチャットの普及、誰もが利用可能な生成 AI の登場、テレワークシステムライセンスの全正規職員への付与など、この 2 年ほどでこれまでとは比べ物にならない速度で本市職員の就労環境が変化しました。また、ソフトウェアの提供形態も変化しており、これまでの買い切りモデルからサブスクリプションモデルへの移行が進んでいます。このことにより閉ざされた環境（ α モデル）で仕事をすることに限界を感じつつあります。

そこで過去の RFI では α モデル及び β モデルへの移行を検討してきました。かなり前のめりに β モデルへの移行を検討した時期もありました。しかし、そもそもの β モデル運用のコスト、既存システムを β モデルに対応させることへのコストを検討した結果、 β モデルへの移行は困難であるという結論に至りました。

今回、再度 α モデルへの移行についてみなさまに情報をご提供いただきたいと思います。今回この時期に再度情報提供依頼をお願いする理由の第一は予算です。予算要求を行うにあたり、参考となる見積をいただきたいと思います。予算要求においては、システム標準化による支出増大に起因して、財政部局からとにかくコストを抑えることを求められています。また、様々なご意見やご提案を取り入れ今回一旦仕様を作成させていただきました。これで正しい方向に向かっているかを確認させていただきたいというのが第二の理由になります。1 回目の RFI では、主に保守業務について多くのご指摘をいただき、今回リモート保守を解禁するという決断をさせていただきました。既存、新規問わずすべての事業者のみなさまができるだけフェアな競争を行える仕様を目指しており、様々なご意見をいただきたいと思います。また、もちろんコストを抑えることを求められる中でより良いネットワークを構築するためのアイデアを貪欲に求めています。

とにかくコストを抑えること、そしてその上で最も働きやすいネットワーク環境を構築することが、この調達の至上命題です。今回の RFI からのご参加もお待ちしています。どうかご協力のほどよろしくお願いします。

2. RFI 実施スケジュール

RFI 公募開始 : 令和7年8月18日（月）

RFI 回答提出締め切り : 令和7年9月10日（水） 午後5時

※ 締め切りを過ぎても令和7年10月17日（金）まで受け付けますが、上記締め切りを過ぎてご提出いただいた場合、いただいた情報を予算要求等に反映できない可能性があります。

3. RFI 配布資料

(1) 芦屋市仮想化基盤及び庁内ネットワーク構築運用業務情報提供依頼実施要領 ※本書

(2) 芦屋市仮想化基盤及び庁内ネットワーク構築運用業務情報提供依頼書（RFI）

- (3) (様式1) 誓約書
- (4) (様式2) 質問票
- (5) (様式3) 見積総括表

※(2)の資料は、RFIへの参加を表明された事業者に個別に送付します。

4. RFI 参加表明

RFI への参加を希望される場合は、様式1『誓約書』に手書きで会社名・所属・担当者名を記入のうえ、スキャニングして『9.担当窓口』へメールにてお送りください。

その後、本市より情報提供依頼書のデータを担当者宛てに送付いたします。

5. RFI にかかる質問

RFI について質問がある場合は、原則、様式2『質問票』に質問内容をまとめたうえで、『9.担当窓口』へメールにてお送りください。

回答については、質問内容により個別打合せ、電話、電子メール等いずれかの方法で随時回答します。

6. RFI 回答の提出依頼内容

次表に示す書類の提出をお願いします。なお、「芦屋市仮想化基盤及び市内ネットワーク構築運用業務情報提供依頼書（RFI）」に記載している内容は、あくまでも現時点での検討案ですので、必ずしも全ての要件を満たす必要はありません。なお、今回のRFIにおいては、個別のシステム等のご提案ではなく、仕様書に記載の調達範囲すべてを1パッケージとして情報提供いただきますようお願いいたします。

No.	提出書類	提出要否	内 容
1	見積総括表 【様式3】	必須	「芦屋市仮想化基盤及び市内ネットワーク構築運用業務情報提供依頼書（RFI）」をもとに、貴社が提案する次期ネットワークに関する見積の提出をお願いします。 見積対象期間は、令和9年度～令和14年度の6年間です。（令和8年度の契約後～令和10年3月までが構築移行期間、令和10年4月～令和15年3月までが保守運用期間になります。） ※本様式は Excel 形式のままお送りください

No.	提出書類	提出要否	内 容
2	見積明細 【任意様式】	必須	様式3『見積総括表』と合わせて、任意様式で見積明細の提出をお願いします。 なお、見積には「一式」などの一括表記を用いず、必ず個々の項目についての「標準価格」、「提供価格」が判別できるように記載するとともに、見積総括表と年度ごとの経費や、5年間の総合計金額が一致するようにしてください。
3	提案書 【任意様式】	必須	貴社が提案するシステムについて、下記ア～ウの内容に沿って提案書等の提出をお願いします。「ウ」については既製のご紹介資料等をそのままご提出いただく形でも構いません。 ア 提案するシステムの全体構成案 ・提案するシステム構成の考え方（コンセプト） ・システム全体像 イ 導入実績 ・他団体でのネットワーク構築の事例、成果、課題等 ウ 提案するネットワークの機能 ・提案するネットワークの全体及び仮想ブラウザ等のシステムの特徴、機能等

7. RFI 回答提出方法

見積及び回答の提出については、「2. RFI実施スケジュール」の期限までに『9. 担当窓口』にメールでお送りください。また、お手数ですがメールの送信後は、送信した旨を電話で担当者までお知らせください。

※期限を過ぎる場合は同窓口までご連絡をお願いします。

8. RFI 回答後の個別協議・ヒアリング

RFI 回答の受理後、ご提出いただいた見積書や提案書の内容について、協議及びヒアリングの場を設けたく考えております。具体的な日時や会議形態等は個別に調整させていただきます。

9. 担当窓口

芦屋市企画部市長公室DX行革推進課（担当：井出）

連絡先 ： 0797-38-2021

E-mail : joho@city.ashiya.lg.jp

10. 今後の予定（現時点では予算の裏付けがないため、あくまで検討段階。）

令和7年	8月～9月	情報提供依頼（RFI）
	10月～12月	予算要求
令和8年	1月～7月	仕様完成
	8月～9月	意見招請（RFC）
	10月～12月	公告、プロポーザル実施期間、契約

11. 留意事項

- (1) 本RFIは、芦屋市仮想化基盤及び市内ネットワークについて検討するための情報収集が目的であり、将来の発注や契約を約束するものではありません。
- (2) 情報提供をいただけなかった事業者について不利益に扱うことは一切ありません。
- (3) ご提供いただいた資料は、本市内部での検討資料として利用します。その際、貴社に断りなく、本市関係職員以外の者へ提供することはいたしません。ただし、本市内部での検討の際には、本計画の支援業務を契約しているコンサルティング会社（中立的なNP0法人）が回答資料を閲覧します。あらかじめご了承ください。
- (4) ご提供いただいた資料については、返却いたしません。
- (5) ご提供いただいた資料の内容について、後日問合せを行う場合があります。
- (6) 情報提供に関する費用については各事業者にてご負担をお願いします。

以 上